

歴史の中に見る希望



題字 初代会長青木貞元氏

発行所 新潟産業大学 父母の会事務局
〒945-1393 新潟県柏崎市軽井川4730
☎(0257) 24-6402 FAX 22-8241

会長 帆刈昇一



明けておめでとうございます。日頃、「父母の会」の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

昨年、平成十九年は新潟産業大学が四年制大学に移行して二十年、柏専学院創立六十周年の佳節を迎え、その記念事業として昨年十月に各界で活躍されている卒業生からの講演会を「父母の会」の共済で開催を予定していましたが、新潟県中越沖地震で会場として予定していた柏崎市民会館が大きな被害を受けたことから開催が中止となりました。

講演者の候補として、中越地震の際、長岡市の妙見堰で生き埋めになった母子の救助活動にあたった東京消防庁の隊長さんが卒業生であるとうかがい、各界で活躍されている卒業生の方々からのお話を是非お聞きしたかったです。

新潟産業大学は私立大学としては新潟県内で最も古い歴史を持つ大学で、平成十九年三月卒業生の就職率は全国十七位にランクされました。これは新潟県内はもとより全国的にも就職に強い大学である

ことを証明するものではないでしょうか。また、長引く不況の中でも、先生方の熱心な教育、ご指導の成果であると思います。「父母の会」は、このような大学の教育活動を援助し、大学と家庭との連絡強調を緊密にし、大学の発展に寄与することを目的に次の事業を行なっております。①全体総会、②各支部総会、③文化講演会、④奨学金貸付制度、⑤部活動への補助、などです。

支部は北海道東北、新潟、関東、北陸、中部東海、近畿以西の六支部からなり、五支部で支部総会が開催されました。開催に向けて支部長さんはじめ役員の方々にはご苦勞も多々あったと思いますが、心から御礼申しあげます。

最後に、新潟産業大学と父母の会の益々の発展のために、皆様方の一層のご理解とご協力をお願いしご挨拶とします。

第十四回総会



天候に恵まれた平成十九年六月十日(日)、第十四回父母の会総会が、多くの父母の方々からのご参加により、新潟産業大学講堂にて開催されました。また、当日は資源エネルギー庁と柏崎市の主催による「探検！ エネルギワールド」が大学

の体育館で開催されており、構内は親子連れも含め大変な賑わいでした。

午前中は大学主催の「個別面談会」が実施され、学習や生活状況及び就職相談など、教職員と熱心に話し合う様子が見えま

した。午後一時より父母の会総会が開催されました。初めに帆刈会長が挨拶に立ち、父母の会の目的を説明され、大学と父母の会のより一層の発展に理解と協力を呼びかけられました。

続いて広川俊男学長が挨拶に立ち、父母の会からのご支援に感謝の気持ちを述べられ、現在の大学の取組について説明されました。一つは地域との連携を深めること。続いて、今いる学生の満足度を向上させることを挙げられました。授業においては、わかり易く魅力的な授業を行うこと。また、大学入学試験の複線化に伴い基礎学力の低下が全国的な問題として挙げられるが、本学では質の高い補習授業を行っており、数学では公文式を取り入れ成果を上げていること。教職課程は高等学校・中学校に加え、小学校の教員免許の取得も可能になったこと。部活動やサークル活動の活性化にも取り組んでおり、全国大会で活躍する公認部の他、新たなサークルが立上がるなど、活性化に向け動き始めていること。就職に関しては、より高い就職率を目指すと共に、就職先については本人・父母の意向に添えるよう取り組んでいること。また、地域企業協力のもと、今まで短期間であったインターンシップを長期間できるように検討しているなど、具体的な取組についてのご説明をいただきました。

その後、平成十九年度の新役員が紹介さ

れ、平成十八年度事業報告・会計報告。平成十九年度事業計画案・予算案が説明され承認を受けた後、大学から、教務関係・就職関係・学生生活関係の現況報告がなされました。

総会終了後は、第一部発表会として毎年好評となっている四年生の就職体験談の発表。そして第二部では吹奏楽部による演奏と、留学生による歌唱や馬頭琴の演奏がありました。いずれ劣らぬ素晴らしい演奏を堪能させていただきました。

最後に、人文学部准教授の海老澤先生より「英国庭園の楽しみ」と題しご講演をいただきました。今回は、折角の機会なので「エネルギワールド」を見学に来校された皆様にも学生による発表会や講演会をご覧いただくこと、第二部以降は一般の方にも開放して行い、親子連れなどの会員以外の方も会場に見受けられ、例年とは一味違ったものとなりました。



平成19年度父母の会 役員

- 会長 帆刈 昇一 (新潟支部)
副会長 久保 研一 (北陸支部長)
幹事長 斎藤 富雄 (中部東海支部長)
会計 宮崎利江子 (新潟支部)
会計監査 佐藤百合子 (新潟支部)
幹事 間 力 (北海道東北支部長)
幹事 浅野 高宏 (新潟支部長)
幹事 瀬間 栄治 (関東支部長)
幹事 丸山恵美子 (近畿以西支部長)

預金一覽

(平成19年3月31日現在・単位：円)

種別	金額	満期日	備考
事業積立金	定期預金	735,000	平成19年度事業に使用目的の積立金北越銀行(自動継続)
	定期預金	645,000	平成19年度事業に使用目的の積立金北越銀行(自動継続)
	定期預金	690,000	平成19年度事業に使用目的の積立金北越銀行(自動継続)
	定期預金	645,000	平成20年度事業に使用目的の積立金北越銀行(自動継続)
	定期預金	685,000	平成20年度事業に使用目的の積立金北越銀行(自動継続)
計	4,085,000		
奨学基金積立	定期預金	2,000,156	平成6・7年度奨学基金積立第四銀行(自動継続)
	定期預金	1,500,118	平成8年度奨学基金積立第四銀行(自動継続)
	定期預金	1,500,118	平成9年度奨学基金積立第四銀行(自動継続)
	定期預金	1,500,118	平成10年度奨学基金積立第四銀行(自動継続)
	計	6,500,510	
合計	10,585,510		
決済用普通預金	1,820,077		北越銀行
	1,955,000		北越銀行特別会計奨学貸付
計	3,775,077		
決済用普通預金	2,300,000		北越銀行平成19年度入学者会費前受分

父母の会会計

収入の部

(単位：円)

科目	18年度予算額	18年度決算額	比較増減	摘要	19年度予算額
会費(新入生のみ)	2,750,000	2,760,000	10,000	20,000円×137名=2,740,000円(1年生) 10,000円×2名=20,000円(3年生)	2,300,000
当年度事業積立金繰入	2,385,000	2,385,000	0	前徴収した平成18年度分事業費取崩分	2,025,000
総会等懇親会費徴収分	0	53,000	53,000	1,000円×33名、支部会懇親会費20,000円	
雑収入	1,750	1,947	197	預金利息他	1,923
前年度繰越金	1,557,250	1,557,250	0		1,820,077
計	6,694,000	6,757,197	63,197		6,147,000

支出の部

(単位：円)

科目	18年度予算額	18年度決算額	比較増減	摘要	19年度予算額
事務費	70,000	18,451	△ 51,549	通信費・事務用品費・振込手数料他	50,000
役員会開催費	300,000	194,965	△ 105,035	通信費・交通費・昼食代他	280,000
総会開催費	700,000	491,491	△ 208,509	通信費・印刷費・懇親会費他	700,000
支部活動補助費	1,560,000	924,282	△ 635,718	北海道東北支部	58,245円
				新潟支部	431,809円
				関東支部	91,075円
				北陸支部	27,636円
				中部東海支部	121,440円
				近畿以西支部	35,240円
教職員派遣交通費	155,950円				
振込手数料	2,887円				
事業開催運営費	940,000	334,154	△ 605,846	講演会等開催経費	800,000
部活動補助費	500,000	500,000	0	公認部活動(遠征・強化合宿)の補助	500,000
会報発行費	100,000	47,712	△ 52,288	通信費・印刷費・発送代他	70,000
卒業行事関係補助費	250,000	250,000	0	卒業パーティー経費	250,000
福利厚生費	100,000	16,065	△ 83,935	慶弔費(1名、花環)	100,000
奨学事業費	100,000	100,000	0	留学生を支援する会への寄附金	100,000
19年度事業積立金	690,000	690,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金	0
20年度事業積立金	685,000	685,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金	575,000
21年度事業積立金	685,000	685,000	0	前徴収事業費の当該年度までの積立金	575,000
22年度事業積立金					575,000
雑費	14,000	0	△ 14,000		12,000
次年度繰越金	-	1,820,077	1,820,077		
計	6,694,000	6,757,197	63,197		6,147,000

就職活動体験談

江田和也さん 経済学部(株)コナ



私は三年生の二

月に、高柳町じよんのび村で行われた就職合宿研修会に参加したことをきっかけに、本格的に就職活動を意識し始めました。それまでの私はインターネットの就職情報サイトに登録をただで、「どんな会社でどのような仕事か」とかがはつきりしないまま、ただただ過ぎていく日々には焦りを感じていました。研修会において先輩やOBの方々のお話を聞き、模擬面接や集団討論の練習を行ったことにより、自分の中で就職に対する意識が強まったことを覚えていました。

私が就職活動で苦労したことは、「働きたいと思う会社」を見つけることでした。就職活動を始めた当初、私は自己分析がよろそかであったため、自分自身に対する理解が甘く、「自分はどんな人間か、どんな仕事をしたか、どんな仕事に向いているか」を明確にできず、会社選びに悩んでいました。しかし、このままでは先に進めなれないと思い、自分自身を知ることからやり直すことにしました。自分を分析し、価値観を理解することにより、自分と会社との接点が見えてくるようになりました。これから何十年と人生を共にしていきたいと思える会社を選ぶには、少しでも自分の価値観

と近い会社を見つける必要性があると感じました。

就職活動において大切なこと、しなければいけないことは沢山ありますが、私が特に大切だと感じたことは「明るい挨拶」です。就職活動では様々な企業の方とお会いする機会が多く、私自身緊張の連続でしたが、前向きな気持ちと元気の良さを大切に、常に明るい挨拶をすることを心掛けていました。就職活動は挨拶がすべてではありませんが、挨拶がなければすべては始まりません。

また、就職活動において家族の支えというものは非常に心強いものです。就職活動では自ら考え行動することが必要ですが、やはり悩みや不安といったものが付き物です。そこで家族に対して望むことは、子供と就職に対する話し合いをする機会を設けてほしいということです。私自身も何度か就職に関して家族と話し合いを行いました。多少意見がぶつかることもありましたが、家族の温かみを感じることができ、精神的・経済的に大きな支えとなってくれたことをとても感謝しています。

最後に、後輩のみなさんに伝えたいことは、就職活動にフライングはないということです。私は大学生活のスタートと同時に就職活動を始めることもできると考えています。勉強以外にもアルバイト、部活動やサークル、社会貢献活動などを通じて、社交性や協調性を養い、お金の大切さを学ぶことによって、自分をさらに磨くことができるからです。もちろん学生ですので、勉

学に励むことが一番大切です。このような大学生活の様々な経験が就職活動に生きてくると思いますので、大学生活のスタートと同時に就職活動を始められることができるといつても過言ではないと思います。悔いの残らないよう充実した大学生活を過ごしてください。

■渋谷直仁さん 人文学部(機ゲオ)



私は書籍・音楽関連の専門販売の企業である機ゲオから内定をいただきました。

私が就職を意識し始めたのは三年生の十二月頃で、周りがすでに動き出しているという噂を聞いてからでした。まずパソコンを買い、就職サイトに登録し、情報を集めました。なぜなら、最近の就職活動は、インターネットで企業にエントリーすることが多く、パソコンは必需品だと思ったからです。更に自己分析やSPIテスト用の問題集を買って、遅まきながら就職に向けた準備を始めたのもこの時期でした。

本格的に活動し始めたのは二月になってからで、複数の合同企業説明会に参加しました。興味を持った企業があり、履歴書の下書きを添削して頂くために就職課へ行きまして。自分ではなかなかの出来だと思っていたのですが、真つ赤に添削された履歴書を見て、かなり落ち込みました。その時は、投げ出した気持ちで一杯だったのですが、今、考えると、この段階を踏まえたからこそ、自分自身について、また自分の就きたい仕事に関して深く考えることができたのではないかと思います。また、企業

へのエントリーシートの記入で一番苦労したのは自己PRの欄で、自分の魅力をどのようにアピールすれば相手に伝わるのか、随分悩みました。大学の行事やクラブ・サークル活動に積極的に参加し、様々な経験を積んでおけば、より具体的なエピソードを踏まえてアピールすることが可能なのと後悔しました。

一次試験は筆記、二次試験が集団面接で、同日実施されました。筆記試験は、一般常識問題と国語・数学と小論文、集団面接は五人一組で行われました。ゲオは接客業ということもあり、私は筆記試験より面接の方が比重が高いと考え、とにかく面接官の目を見て質問に答えることを意識して臨みました。無事にクリアすることができ、次に行われたのは三次試験のグループディスカッションでした。私は何とか意見を言うように努力しましたが、他の四人の素晴らしい意見に終始圧倒されていたような気がします。頭の中で思っていることを、きちんとした言葉で相手に上手く伝える事ができず、コミュニケーション能力の低さを痛感しました。

自分ではここで落ちたと思ったのですが、運よく、最終面接まで残ることができました。最終面接は私一人に対して二人の面接官が質問する形式でした。主にエントリーシートや履歴書から質問されました。内定をいただいたのは、私がゲオで働きたいという強い気持ちが伝わったからではないかと思っています。

今、振り返ってみると、私の場合両親に相談することが多かったように思います。なぜなら、ここまで一生懸命育ててくれた両親にも自分の気持ちを知って欲しかったからです。意見が多少ぶつかることもあったのですが、最終的に、自分の意見を

最大限尊重し、応援してくれたことも、納得いく就職活動をすることができた要因の一つだと思います。

■小林裕仁さん

産業システム学部 (JR東日本)



私が就職活動の準備を開始したのはちょうど一年前の今頃で、毎週水曜日の五時間目に行われる就職セミナーに参加することからでした。そこでは就職活動に必要な様々な知識を学んだり、テストを受けることができました。夏休みにはインターンシップを行い、アルバイトでは体験することのできない企業の内部的な部分を知ることができ、「働く」ことがどういふことかを実感できたような気がします。

就職活動を本格的に意識し始めたのは、初めて合同企業説明会が行われた三年の十一月でした。他大学の大勢のライバルたちの真剣な表情を目の当たりにして「自分は本当に就職できるのだろうか」と焦りました。エントリーした会社は食品関係を中心に十社ぐらいです。エントリーする会社は就職支援サイトで検索したり、友人と情報交換を行ったりもしましたが、中でも一番良かったと思う手段は合同企業説明会に行き、直接企業の人と意見を交換したことです。職場の雰囲気など会社案内には書いていないことなどを聞き出せるからです。また、合同企業説明会に参加している企業の中には、就職支援サイトには一切情報が載っていない穴場企業も参加されています。また、毎回参加企業が変わるので何回

も足を運んで欲しいと思います。私がJR東日本を選んだ理由は、小さいころから憧れていたということが一番の理由です。更に本学での説明会に来ていただいた時にお話を伺い、改めてやりがいを感じる事ができました。

これは私の考えなのですが、本学にわざわざ説明に来ていただく企業の方々は来なかった企業に比べて、本学から内定者を出す気があるから来られるのだと思います。ですから本学で行われる企業説明会には絶対に参加するべきだと思います。

就職活動において悩んだことは、がんばってもがんばっても内定をいただけなかったことです。夜遅くまで何時間もかけて丁寧に作った履歴書がアパートのポストに返却されていたり、友人が早くに就職活動を終えたという情報を聞くと心が折れそうになりました。このように就職活動中はギリギリまで追い詰められる場面が多々あります。ですから、ご家族の方々には会話などをしながら自信を取り戻せる環境を作っていたことが重要だと思います。

就職活動が進んでいくにつれて内定がもらえなかったり、友人に内定が先に出たりして焦ってしまい、興味も無いのに内定を簡単にもらえそうな企業を受けなくなったりするかもしれません。しかしそれは見聞を広めたり、慣れさせるためにはいいかもしれません。本学に自分がそこで働きたいのかが一番大切なことだと思います。一生働くかもしれない会社です。後悔しない会社を選んで欲しいと思います。

※文章は抜粋したものです。尚、四年生の就職活動体験発表会は毎年十一月に就職支援行事として行なわれています。

向陽彩(紅葉祭)

太陽に向い、彩りある街の
復興をめざして

十月六・七日に予定されていた毎年恒例の紅葉祭ですが、中越沖地震の影響で準備等が間に合わず、やむなく中止となりました。

しかし、震災から3ヶ月が過ぎ、市民の皆様が一丸となって「明るい柏崎をもう一度」と復興に力を入れてる中、地震のために夏休みなどにどこにも行けなかった、思い切り遊べなかつた子供たちのために何かできないかと、学生行事実行委員会が、子供たちが一日無料で楽しめるようにイベントを企画しました。

また、中止となった「紅葉祭」の伝統を途切れさせないという思いも込め、読み方は同じ「向陽彩」と銘打ち、十一月三日(土)に震災復興イベントとして開催いたしました。

子供たちは、風船やポップコーンの無料プレゼントをはじめ、金魚すくい、型抜き、ストラックアウト、万華鏡などの科学工作をスタンラリー形式で行い、学内をまわりながら、それぞれのブースで楽しみ、スタンプを押して景品をもらっていました。無料の映画上映では「森のリトルギヤング」を教室の巨大スクリーンで鑑賞し、子供たちは大満足の様子でした。

メインステージでは、吹奏楽部と市の吹奏楽団による合同演奏会、留学生の馬頭琴演奏



と唄・舞踊。市内の小中学生から高校生までが演奏したエレクトーンライブが行われ、どれも来場して下さった方々から大きな拍手をいただきました。

また、震災復興イベントの話に賛同いただいた、県内出身のシンガー真季さんも参加してください。華麗な歌声を披露してくださいました。真季さんはコンサート開始前に自ら中庭に出て歌ってください、最後の豪華商品プレゼントのイベントまでずっと参加してくださいました。

学生行事実行委員会は、今回のイベント実施に際し、市民の皆様と一緒に震災復興を祈念したメッセージをのせたエコ風船を飛ばしたいと準備を整え、一週間前から天気を気にしていました。その甲斐あって、カウントダウンで飛ばした三百個のエコ風船は、青空に映える素晴らしい絵となり、思わず大きな拍手が沸きました。

リサイクルバザーでは、教職員や学生が持ち寄った提供品を、お好きな値段で市民の方にお持ち帰りいただきました。このバザー収益金と古本市の収益金、受付の募金は、後日、柏崎市子ども会連合会に寄附されました。

ほかにも軽音楽部のライブやモンゴル相撲部の相撲大会、茶道部のお茶会や模擬店など、夕方まで大賑わいの一日となりました。

来年は従来の「紅葉祭」として開催予定です。ご父兄の皆様も、来年の紅葉祭に是非お越しください。お待ちしております。

平成19年度 公認部主要大会成績一覧表

クラブ名	大会名	部門・種目および大会出場者名(学生)	成績
空手道部	第43回東日本大学空手道選手権大会(5月)	団体組手 湯中安佑(経4)、唐木竜二(経3)、阿部祥明(経2)、南山敬高(経2)	2回戦進出
	第33回北信越学生空手道選手権大会(5月)	個人組手 唐木竜二(経3)	ベスト8
	第52回北信越大学空手道選手権大会(9月)	団体組手 湯中安佑(経4)、唐木竜二(経3)、阿部祥明(経2)、南山敬高(経2)、入澤仁(経1)、加藤裕彦(経1)、二宮拓哉(経1)	3位
卓球部	第55回春季北信越学生卓球選手権大会(5月)	シングルス 佐々木和也(経3)	ベスト8
	平成19年度夏季北信越学生卓球選手権大会 兼 第7回全日本学生卓球選手権大会 北信越地区予選(8月)	団体戦 大岡誠志(経3)、佐々木和也(経3)、関安宇(経2)、長谷川惠輔(経1)	3位
	第74回全日本学生卓球選手権大会(10月)	シングルス 佐々木和也(経3)	ベスト8
	第55回秋季北信越学生卓球選手権大会(10月)	シングルス 関安宇(経2)	ベスト8
	第55回秋季北信越学生卓球選手権大会(10月)	ダブルス 佐々木和也、関安宇	優勝
水泳部 水球部門	第11回東日本水球リーグ戦(5月)	一戸界人(経4)、南本秀人(人4)、布田敬信(経4)、瀬間大地(経3)、徳田博也(経3)、丸山博史(経3)、武田裕也(経2)、佐藤達也(経2)、三井山裕(経2)、山下和宏(経2)、中野基平(経2)、藤辺秀典(経2)、井上智史(経1)、高根裕介(経1)、千崎研一(経1)、徳江聖明(経1)、仲村泰広(経1)、大山剛成(経1)	2部9位
	2007年度関東学生水球リーグ戦(6~9月)		2部1位
	第39回日本学生選手権大会水球競技大会【水球競技】(9月)		出場
バレーボール部	第28回信越大学バレーボール大会(9月)	青木卓也(経3)、長崎亮(経2)、江向祐太(経1)、高仁志(経1)、井上真志(経1)、近藤祐紀(経1)	出場
ライフセービング部	第20回全日本ライフセービング種目別選手権大会(6月)	ボードレース 青木将展(人3)	2位
	三洋物産インターナショナルライフセービングカップ2007(日本代表派遣)	アイアンマンレース 岸田耕一(産3)	決勝進出
	第22回全日本学生ライフセービング選手権大会(9月)	ボードレース 岸田耕一(産3)	11位
	第33回全日本ライフセービング選手権大会(9月)	ボードレース 岸田耕一(産3)	6位
	第33回全日本ライフセービング選手権大会(10月)	ボードレース 青木将展(人3)	4位
	第33回全日本ライフセービング選手権大会(10月)	ボードレース 岸田耕一(産3)	6位
バスケットボール部	第22回全日本学生ライフセービング選手権大会(9月)	アイアンマンレース 青木将展(人3)	決勝進出
	第33回全日本ライフセービング選手権大会(9月)	ボードレース 岸田耕一(産3)	決勝進出
	第33回全日本ライフセービング選手権大会(10月)	ボードレース 岸田耕一(産3)	決勝進出
	第33回全日本ライフセービング選手権大会(10月)	ボードレース 岸田耕一(産3)	決勝進出
剣道部	第41回北信越学生バスケットボール選手権大会(10月)	佐久間寿嗣(経4)、波多野政樹(経4)、砂山拓也(産4)、高橋真士(産4)、白井悠輔(経3)、佐藤剛(経2)、瀬藤司(経2)、東部拓馬(経2)、田中忍(経1)	出場
	第49回北信越学生剣道選手権大会(5月)	個人 田中忍(経2)	3回戦進出
	第49回北信越学生剣道優勝大会(9月)	団体 上藤公康(経1)、小松拓巳(経1)、星野太彦(産1)	出場
モンゴル相撲部	第31回各道選抜東北日本居合道大会(6月)	居合演武 田中忍(経2)	初段の部優秀賞
	東京内モンゴル相撲大会(6月)	個人 巴岡高克(バトモシク)(経3)	3位
	モンゴル相撲那須大会(9月)	個人 兼方格園(ベリゲト)(経1)	4位
	東京モンゴル相撲大会(10月)	個人 賀藤裕実(ベシケボイシ)(人4)、賀藤裕実(ベシケボイシ)(人4)、巴岡高克(バトモシク)(経3)	4位

※成績はブロック大会以上を掲載

雑感

父母の会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年七月十六日に発生した地震により、柏崎を中心とした中越地域は甚大な被害を受けました。被害に遭われた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

さて、平成十八年度、十九年度の二年間父母の会の役員をさせて頂きました。この間二回父母の会総会に出席させて頂いた訳ですが、その中の学生による「就職活動体験談発表」には大いに考えさせられることが多くありました。

一、三年生の十月頃から就職活動が始まり、翌年の五月頃に内定が出る事実。大学は四年有るはずなのに、何故か最後の一年は就職活

動で追われる事実。矛盾を感じられている父母の方も多いと思います。しかしながら全国

二、就職の新卒採用は、自分の人生で一度しかない事実。一度しかないけれど、特別な能力を持たなくても就職できる唯一のチャンス。フリーターで卒業すると、そこから先は中途採用になる。中途採用には即戦力が求められる事実。

三、就職活動は企業との出会いの活動。出会いまでは十連敗でも二十連敗でも構わないのです。一社見つけなければいけません。学生の皆さんの奮闘と努力に期待しております。そして、大学側のバックアップにも大いに期待しております。

父母の会幹事長 齋藤 富雄